

尼崎西高校との地域活性化を目的とした連携に対して。

大庄元気むら運営委員会報告

1. 想定していた活動成果に対し、達成できたかどうか。

- ① 達成できたと思います。ただ、企画・準備段階で(活動全体の)日数配分などを詰めて考えていなかった事もあって最後は大慌ての様な仕上げになってしまいました。複数の団体や組織が絡む活動は、報連相含め互いの連携が特に重要になってくるとも痛感しました。
- ② 高校生のエネルギー(治験・情報)を得ることで地域(町内会など)活性化・元気(つながり)になるヒントを期待していた。
- ③ ワークショップ(カードゲーム・軽食懇談)することで多世代が交流を深めるきっかけづくりのヒントを得られた。
- ④ 具体的に住民とのつながり方策が個人として明確にできなかった。
- ⑤ 主導するテーマをもっと掘り下げる必要があると思った。
- ⑥ 今後の課題である、住民がつながりを求めている点を知ることができた。ありがとうございました。
- ⑦ コロナ禍により継続活動が出来ないのが残念であった。
- ⑧ 想像以上の出来だった。
- ⑨ 結構できたと思う。
- ⑩ 高校生と地域住民がワークショップを通じて交わりの機会が持てたことと、一緒に文化祭を作り上げることができたことが良かった。
- ⑪ 元気むら&尼崎西高校の文化祭がコロナ禍で縮小となったが達成できたと思う。
- ⑫ 心の通っているもの同士であれば当然の結果であったように思う。
- ⑬ コロナで自粛ムードの中、開催できたことが満足です。
- ⑭ 高校生との共同発表の計画からかなりの変更がありましたがコロナ対応で人の集まりを調整し、出演、出展の選定などで成功したと思います。

2. 学生が関わったことで、地域や元気むら運営委員会の活動にどのような変化があったか。

- ① 普段、(高校生の子が居る家庭でなければ)あまり接点がない地域住民と地元高校生と言う関係性の中で、生徒さんたちの部活動の様子や頑張る姿などを直接見ることが出来て地域の方々の関心度も上がったように思います。また運営委員会のメンバーも、文化祭を盛り上げる為に若い世代が楽しそうに取り組む姿を見て「(世代はかなり上だけど)一緒に文化祭を楽しめる(いくつになっても)青春」の活動を心か

ら楽しむことができました。

- ② 若い力を大庄元気むらに取り入れたい希望を持っていた。高校生の若いエネルギーは素晴らしかった。
- ③ 近隣の学校と交流ができる環境を知り得たことは今後の活動に役に立つ。
- ④ 単発の企画・活動以外に継続する企画の必要性を感じた。
- ⑤ 学校で実施している活動を住民に伝えることで元気になる。また体験することで心身が向上する。
- ⑥ 新しい考えをもらい、今後の参考になった。
- ⑦ 西高を身近に感じるようになった。
- ⑧ 多世代交流を目指している中で、高齢者中心となりがちであったが、高校生との交流は大変刺激となった。
- ⑨ 運営委員のメンバーも高校生との交流でいきいきしていた様子うかがえ、私自身も高校生と接することが出来てとてもうれしかった。これをきっかけに若い世代とつながることの大切さをメンバーで共有し、継続し続けるようにしたい。
- ⑩ 10歳は若返っているように見えた。
- ⑪ 子どもの未来を考える発言が増えたように思う。
- ⑫ 地域の方は高校生徒との繋がりが少なく余り感心が薄かったが今回の文化祭で結び付きが出来た事でこれから一緒にやっっていこうと思います。

3. 尼崎西高校に対する考え方の変化はあったか。

- ① 「今時の高校生は・・・」と屢々耳にしがちな今の時代に、どんなことにも果敢に臨んでみると言うチャレンジ精神旺盛な生徒さんが多いことに、大人として感心させられました。企画から共に参加してくれた子、当日運営ボランティアとして入ってくれた子たちも・・・。「現代の子供たち＝周囲に無関心」や「面倒なことを嫌がる傾向」などは大人側が抱えている偏見なのかも、と気づかされました。
- ② 私の母校を改めて自慢できる素晴らしい学生たちが集ってくれたことを頼もしく思います。
- ③ 学校教育の中に地域との連携を教育方針として掲げていることが分かった。
- ④ 尼西高の先進的な教育方針を知った。
- ⑤ 自身の出身校であり、近所に住んでいるが接点がなく、あまり身近に感じられなかったが、学生さんはとても素直で地域の大切な存在と思えた。体操部、ダンス部などのクラブ活動を知り、もっと応援したいと思った。
- ⑥ 遠い存在から身近な存在へ変わった。
- ⑦ 私の高校時代では考えられない教育が実践されているのだと驚きを覚えた。
- ⑧ 今まで大庄地区に有る学校と言う認識ですが今回計画から準備、発表迄やり仲間と

の認識になり今回だけでなくいろいろなことで協力出来ると思います。

4. 尼崎西高校と一緒にいった活動について、ご意見ご感想を何でもお願いいたします。

- ① 年末に開催された「文化祭」以外にも、お互いのコミュニケーションを高めていくための取り組みとして「ATTF カードゲーム」というものをしました。尼崎が現状抱えている課題や問題ごとなどに対して、(今までにない)斬新なアイデアや解決策をたくさん挙げてくれていた生徒さんたちに思わず拍手です。若い世代ならでは?? 今時の SNS ツールを用いて解決していけそうな術を豊富に考えてくれていた様子を見ていて、世代を超えて話し合う意義が大いにあったと感じたほどです。
- ② まわし読み新聞など、いくつか高校生と関わって感じたことは高校生に敬意を持って接するべきだという風に価値観が変わりました。定期開催につながると良いと思います。
- ③ もし教育方針に地域とのつながりを高めるとあれば、学校開放も実施してはどうか。
- ④ 値域では、子どもの学校行事などにより学校見学が可能です、高校の見学は躊躇しています。いつか見学してみたい。
- ⑤ 今後も一緒に何かのイベントをしていきたい。
- ⑥ おじいちゃん、おばあちゃんともっと一緒に遊んでね。
- ⑦ 学生さんの力を借りて地域の活性化をさらに広げたい。また学生さんも学校以外で大人との交流することで考えを広げたり、行き詰ったときの相談できる場として欲しい。これで終わりではなく、今後も一緒に考え、支え合える関係をつくっていきたい。
- ⑧ 田中先生から学ぶ生徒さんはより良い人生を歩むのではないのでしょうか。私も高校の先生の影響がとても大きいのでそう感じますしそうあって欲しいです。
- ⑨ 目標のある若者は美しい。
- ⑩ 市外からの生徒の多さを嘆く方もおられたがそうではないと思う。尼崎との接点だったり、いかにその地に関わったかが大事なのだと。私は神戸で生まれ、高校は芦屋だった。それまで芦屋は踏み入れたことのない見知らぬ地であったが今では芦屋に愛着がある。
- ⑪ コロナ状況の中皆で意見を出しあい出来ないではなく出来るよう工夫し実行出来たのは素晴らしい事だと思います。